

商学研究科 教員情報

<経済系列>

氏名	畑農 鋭矢 (はたの としや)	
担当専修科目	前期課程:「財政学特論」「財政学特論演習」 後期課程:「財政学特殊研究」「財政学特殊演習」	
研究テーマ	財政赤字のマクロ経済的影響 状態空間モデルの経済学への応用 経済主体のディープ・パラメータの計測 世論形成メカニズムに関する実証研究	
研究指導領域	公共経済学の立場から公共部門の役割や財政運営について研究する。そのために必修の知識としてミクロ経済学、マクロ経済学、統計学・計量経済学、統計データの活用法について学習を進める。経済学の理論をベースにした実証研究の俎上に載るのであれば、狭義の財政学や公共経済学にとどまらず、周辺領域に関する研究についても歓迎する。	
キーワード (10個以内)	<ul style="list-style-type: none"> ・財政赤字 ・財政運営 ・中立命題 ・状態空間モデル ・カルマン・フィルタ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ディープ・パラメータ ・世論形成メカニズム ・パネル・データ ・応用計量経済学
志願者への メッセージなど	<p>「勉強」と「研究」は似ていますが、細部はずいぶん異なるものです。勉強は地図のある旅、どこに行けばゴール(答え)にたどり着けるのか大体分かっています。学校の勉強など、ナビ付きの自動車で舗装された道路を走っているようなものです。</p> <p>研究は地図のない(答えのない)所に踏み込むかもしれない旅です。誰も行ったことのない、または行った人はいても既に忘れられている場所を探す未知の旅です。道がなければ造らなければならないかもしれません。明かりがなければ懐中電灯を持って行く必要があります。自らが造る道、自らが持つ明かりが、経済学の理論であり、計量経済学の道具です。</p> <p>道なき道を進むためには、できるだけ強力な明かりが欲しいはずですが、その明かりを得るために大学院での勉強がきっと役に立つに違いありません。</p>	

商学研究科 教員情報

＜経済系列＞

氏名	小林 弦矢 (こばやし げんや)	
担当専修科目	前期課程:「統計学特論」「統計学特論演習」	
研究テーマ	ベイズ統計学	
研究指導領域	<ul style="list-style-type: none"> ・ベイズ統計学の枠組みでの新しい統計モデル・数値計算の開発, 自然科学・社会科学にかかわらず現実における重要な課題に対するそれらの適用. ・研究成果の国際会議・国際査読誌への公表を目指す. 	
キーワード (10個以内)	<ul style="list-style-type: none"> ・ベイズ統計学 ・ ・ ・ ・ ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ ・ ・
志願者への メッセージなど	ベイズ統計学に関する最先端の研究を追究しています.	

商学研究科 教員情報

＜経済系列＞

氏名	海老名 剛（えびな たけし）	
担当専修科目	前期課程:「産業組織論特論」「産業組織論特論演習」	
研究テーマ	企業の製品差別化・合併・イノベーション戦略と独占禁止法への応用 不確実性下の企業の投資行動と最適政策	
研究指導領域	産業組織の理論に基づき、企業戦略や政府の競争政策を分析する研究者を養成します。具体的なトピックスとしては、産業組織で扱う製品差別化、合併、価格差別、研究開発、参入・撤退、垂直統合等を想定しています。主として、理論分析に基づき指導を進めます。	
キーワード (10個以内)	<ul style="list-style-type: none"> ▪Product differentiation ▪Merger and acquisition ▪Price discrimination ▪Research and development ▪Competition policy 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ ▪ ▪ ▪ ▪
志願者への メッセージなど	教員の研究手法より、理論分析に興味を持つ志願者を歓迎します。実証分析に興味がある場合、事前に必ず相談をしてください。早い段階で、査読付国際学術雑誌に掲載されるような論文を書けるよう、指導を進めます。	

商学研究科 教員情報

＜経済系列＞

氏名	高浜 光信（たかはま みつのぶ）	
担当専修科目	前期課程：「国際経済学特論」「国際経済学特論演習」 後期課程：「国際経済学特殊研究」「国際経済学特殊演習」	
研究テーマ	通貨統合，国際通貨の選択と国際通貨システム改革に関わる理論・実証分析	
研究指導領域	国際マクロ経済学に関する理論・実証分析。特に、共通通貨ユーロをめぐる、通貨統合の経済効果に関する理論・実証分析を中心に研究を行っている。その他、各国の国際収支構造の分析、国際間のマネーフロー、通貨投機のメカニズム、東アジアにおける金融協力や、通貨圏形成と各国間の国際貿易構造の関係、国際通貨の生成過程や国際通貨制度に関する史的過程等についても関心をもっている。	
キーワード (10個以内)	<ul style="list-style-type: none"> ・国際マクロ経済学 ・国際通貨システム ・為替レート動学 ・通貨統合 ・国際収支 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際資本移動 ・経済成長と国際貿易 ・国際通貨の選択 ・貨幣論 ・国際貿易論
志願者へのメッセージなど	経済学の理論モデルに基づく考え方や実証手段の習得とともに、歴史や現実の制度に対して深い関心をもつ志願者を希望します。	

商学研究科 教員情報

＜商業系列＞

氏名	竹村 正明 (たけむら まさあき)	
担当専修科目	前期課程:「商業理論特論・演習」 後期課程:「商業理論特殊研究・演習」	
研究テーマ	お金儲けをするのは、なぜ難しいのかについての理論的研究 Theoretical understanding on business: Why business does not work we expected?	
研究指導領域	I can contribute your academic carrier by mainly two scientific procedures. The first one is the emprical study. I have conducted several emprical studies in my academic carrier, not only survey, but also field work. I call both as emprical studies. Only emprical study, I recognize the task in university. The second one is methodologies. I believe that methodological diversification is acceptable in the university research. Any method will be accepted, if it could be said it was scientific.	
キーワード (10個以内)	<ul style="list-style-type: none"> ▪Competitiveness ▪Competitives Strategy ▪Economic Growth ▪Methodology 	
志願者への メッセージなど	There is no opportunity in which only study you can during your academic carrier, except studying in graduate school. Study, study, study. Again study. Only study hard. Nothing else.	

商学研究科 教員情報

＜商業系列＞

氏名	菊池 一夫 (きくち かずお)	
担当専修科目	前期課程:「商業経営論特論」「商業経営論特論演習」 後期課程:「商業経営論特殊研究」「商業経営論特殊演習」	
研究テーマ	小売業経営、卸売業経営の研究	
研究指導領域	研究指導領域としては小売業経営、卸売業経営における諸課題をマーケティング論の研究視点から解決することを目指している。具体的には、小売業の国際化、小売業同士の合併、通信販売のしくみ、卸売業によるリテールサポートの有効性、PB商品の台頭などが挙げられる。また同様にサービス・ビジネスの観点から小売業経営を捉え直す研究も行っている。	
キーワード (10個以内)	<ul style="list-style-type: none"> ・小売経営 ・卸売経営 ・小売主導型物流戦略 ・サービスマネジメントとして捉えた小売業 	
志願者への メッセージなど	<p>本研究室は研究者志望の方を望んでいます。小売業経営、商店街、ショッピングモールや、卸売業、フランチャイズ・システムなどに関心のある方が対象です。社会に発生するマーケティング課題を解決するために、学問の発展を担っていく人物を求めます。つまり、社会に生じている諸問題に常に目を配りながら、これまでの学問の成果を十分に確認していく作業が求められます。</p>	

商学研究科 教員情報

＜商業系列＞

氏名	高橋 昭夫（たかはし あきお）	
担当専修科目	博士前期課程:「商品学特論」「商品学特論演習」 博士後期課程:「商品学特殊研究」「商品学特殊演習」	
研究テーマ	インターナル・マーケティングの研究, クオリティ・オブ・ライフとマーケティングの研究	
研究指導領域	研究指導ができる領域は、下記のキーワードに関連する領域です。2019年4月に入学した博士前期課程1年生は2名で、それぞれ、ブランド・コミュニティとブランドロイヤルティを研究しています。また、2年生も2名で、それぞれクチコミとマーケティング戦略を研究しています。現在、博士後期課程の学生はおりません。研究テーマは、自ら決定してもらいます。研究の進め方は、まず研究テーマに関する先行研究を整理し、次に研究目的にそった仮説を構築します。そして、データを収集し、統計ソフトを用いて解析をして、仮説の検証を行います。そして、最後に、論文として執筆します。	
キーワード (10個以内)	<ul style="list-style-type: none"> ・ブランド・マーケティング ・サービス・マーケティング ・商品開発 ・小売マーケティング ・消費者行動(顧客満足など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・マーケティング・コミュニケーション ・リレーションシップ・マーケティング ・ツーリズム・マーケティング ・知覚品質 ・商品の安全性とリサイクル
志願者への メッセージなど	これまでの卒業生の就職先としては、製造業・流通業・サービス業・大学(教員)などです。高橋昭夫著『インターナル・マーケティングの理論と展開: 人的資源管理との接点をもとめて』同友館 を読んでもらえれば、この研究室の研究の進め方が、ある程度、理解できると思います。	

商学研究科 教員情報

<商業系列>

氏名	福田 康典（ふくた やすのり）	
担当専修科目	前期課程:「市場調査論特論」「市場調査論特論演習」	
研究テーマ	市場における情報の生成と伝播、価値共創空間としての市場のモデル化、マーケティング・リサーチにおける倫理問題	
研究指導領域	<p>本研究室では、企業のマーケティング活動が展開される場としての市場とそれにかかわる様々な現象を理解しモデル化するための方法について学んでいく。特に、価値創造時点を基点とした市場概念への注目と方法論的個人主義からの脱却という近年のマーケティング研究に見られる2つの研究潮流を意識しつつ、これに対応した市場のモデリング方法の確立を目指して、種々のリサーチ技法やその根底にある科学哲学に関する検討を行っていく。また、マーケティング・リサーチにかかわる様々な倫理問題とそれを分析するための理論的枠組みについても考えていく。</p>	
キーワード (10個以内)	<ul style="list-style-type: none"> ・市場調査／マーケティング・リサーチ ・市場の動態性 ・調査技法 ・科学哲学 ・社会的プラクティス 	<ul style="list-style-type: none"> ・価値創造、価値共創 ・ビッグデータ ・多変量解析 ・テキストマイニング ・リサーチ倫理
志願者への メッセージなど	<p>市場は物理的な存在ではありません。それはマーケティングに関わる様々な現象を理解するために生み出された構成概念です。したがって、マーケティングの理論体系の変遷を通じて、その捉え方も変化してきています。しかも、単純な目や耳での観察では捉えにくい心理学的な次元や社会的な次元によって主に構成されています。そうした意味で、市場をありのままに理解する唯一無二の方法が存在するという素朴な考え方では行き詰まってしまいます。リサーチ方法の選択が見える市場の姿を規定するという側面を常に意識し、試行錯誤をしながら様々なリサーチ方法論の特徴と問題点を学んでいきましょう。そうした知識は、研究者として、あるいは実務家として、市場に関連した現象を理解する際の基盤になるでしょう。</p>	

商学研究科 教員情報

＜商業系列＞

氏名	山崎 喜代宏（やまざき きよひろ）	
担当専修科目	前期課程:「競争戦略論特論」「競争戦略論特論演習」	
研究テーマ	製造企業の持続的競争優位構築の論理の探究	
研究指導領域	製造企業の競争戦略や製品戦略の分析を中心に、組織が持続的な優位性を構築するプロセス・メカニズムについて研究指導を行う。具体的には、特に日本の製造企業に関して、戦略的意思決定やそのための組織マネジメントを、事例研究法を中心とした定性的研究方法を用いた研究の指導を行う。	
キーワード (10個以内)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本製造企業の競争戦略 ・持続的競争優位の構築プロセス ・技術経営 ・新製品開発 ・定性的研究方法 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ ・ ・
志願者への メッセージなど	企業が競争優位を構築し、それを持続させることは非常に難しいことです。そのプロセス・メカニズムは面白くもありますが、それを解明するためには、多くの時間・労力が必要となります。それでも論理の探究をしたいと思っている受講生をお待ちしています。	